

食品安全委員会の1月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第173回 1月11日（木）

- ・ 農薬専門調査会における審議状況について報告（「カズサホス」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・ 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議状況について報告（「ジェランガムK3B646」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・ 米国の対日輸出認定施設の現地調査等の報告について厚生労働省及び農林水産省からの報告
- ・ BSE対策に関する調査結果の報告について厚生労働省からの報告
- ・ 米国BSEサーベイランス見直しに対する見解について報告
- ・ 動物用医薬品専門調査会及び肥料・飼料等専門調査会の運営（ポジティブリスト制度導入に伴う評価体制強化に関する事項）について報告
- ・ 平成19年度食品安全委員会予算（案）の概要及び組織・定員要求の結果について報告
- ・ 平成19年度食品健康影響評価技術研究の研究領域の候補について報告

第174回 1月18日（木）

- ・ 食品健康影響評価の要請（動物用医薬品8品目 「フロルフェニコールを有効成分とする牛の注射剤（ニューフローール）」、「豚パルボウイルス感染症・豚丹毒・豚レプトスピラ病（イクテロヘモラジー・カニコーラ・グリッポチフォーサ・ハージョ・プラティスラーバ・ポモナ）混合（アジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（ファローシュアプラスB）」、「鳥インフルエンザ（油性アジュバント加）不活化ワクチン（鳥インフルエンザワクチン「北研」）」、「リン酸チルミコシン液を有効成分とする牛の経口投与剤（ミコラル経口液、経口用ミコラル）」、「トリニューモウイルス感染症生ワクチン（ネモバック）」、「豚丹毒（酢酸トコフェロールアジュバント加）不活化ワクチン（ポーシリスERY、ポーシリスERY「 」）」、「塩酸クレンブテロールを有効成分とする馬の経口投与剤（ベンチプルミン・シロップ）」及び「ヒアルロン酸ナトリウムを有効成分とする馬の注射剤（ハイオネート）」について農林水産省から説明
- ・ 食品健康影響評価の要請（農薬7品目 「イマゼタピルアンモニウム塩」、「シクロエート」、「ジクロルミド」、「ゾキサミド」、「ピノキサデン」、「フルフェンピルエチル」及び「プロポキシカルバゾン」 ~ 全てポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品10品目 「クマホス」 「クレンブテロール」 「酢酸メレンゲステロール」 「セフォペラゾン」 「チルミコシン」 「ニトロフラン類（ニトロフラゾン、ニトロフラントイン、フラゾリドン及びフラルタドン）」 「パロモマイシン」 「フロルフェニコール」 「メチルプレドニゾロン」及び 「ラフォキサニド」 ~ 全てポジティブリスト制度関連）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の申請取下げ（新開発食品「稲から生まれた青汁」）について厚生労働省から説明。取下げとして処理することを了承。
- ・器具・容器包装専門調査会における審議状況について報告（「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正（ポリエチレンテレフタレート）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・新開発食品専門調査会における審議状況について報告（「キリン ブナハリ茸」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品健康影響評価（新開発食品2品目 「明治満足カルシウム」及び 「カルシウム強化スキム」）について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品5品目 「鶏マレック病（マレック病ウイルス1型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（クリオマレック（R I S P E N S + H V T ）」 「鶏マレック病（マレック病ウイルス2型・七面鳥ヘルペスウイルス）凍結生ワクチン（2価MD生ワクチン（H V T + S B・1 ）」 「豚伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合生ワクチン（日生研T G E・P E D混合生ワクチン、スイムジェンT G E / P E D ）」 「豚オーエスキー病不活化ワクチン（“京都微研”豚オーエスキー病不活化ワクチン）」及び 「セフチオフルを有効成分とする牛及び豚の注射剤（エクセネル注）」について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・「平成19年度食品安全モニターの募集について（案）」について検討し、募集することを決定
- ・食品安全委員会の12月の運営について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成18年12月分）について報告

第175回 1月25日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（新開発食品「毎日コツコツふりかけ」）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価（添加物「次亜塩素酸水」）について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（遺伝子組換え食品等 「L-バリン」及び 「L-ロイシン」）について検討し、同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度の導入に関する平成19年度評価依頼予定物質について厚生労働省から報告

2 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第18回 1月23日(火)

- ・「食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項」(平成16年1月16日閣議決定)のフォローアップについて検討

(2) リスクコミュニケーション専門調査会

第29回 1月22日(月)

- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告
- ・「食品健康影響評価に関するリスクコミュニケーションの推進」の事後評価(内閣府政策評価)に係る達成目標(案)と測定目標(案)について検討。専門委員からの意見をもとに事務局で再検討し、達成目標と測定指標を決定するを了承
- ・今後の調査審議について検討。今後は、「リスクコミュニケーション専門調査会に当面調査審議を求める事項」及び「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて」により示された諸課題について、具体的な事例を設定し検討を進めることを決定

(3) 緊急時対応専門調査会

第20回 1月15日(月)

- ・第2回訓練(実動訓練)(平成18年12月1日実施)について説明
- ・緊急時対応訓練の評価手法について説明
- ・第3回訓練(個別要素訓練)(案)について説明。案に基づき訓練計画を立てていくことを了承

(4) 添加物専門調査会

第40回 1月26日(金)

- ・「ブタナール」及び「ポリビニルピロリドン」について検討し、
一部修正の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 農薬専門調査会

第9回幹事会 1月15日(月)

- ・「ジノテフラン」について検討し、一部修正の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第7回総合評価第二部会 1月15日(月) 非公開

- ・「フルフェノクスロン」、「シフルメトフェン」及び「シロマジン」について検討し、及び
について、一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第2回確認評価第二部会 1月22日(月) 非公開

- ・「アミトラス」について検討し、一部修正の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 動物用医薬品専門調査会

第66回 1月26日(金)

- ・ニトロフラン類について検討
- ・確認評価部会において審議する動物用医薬品の指定について検討し、7物質を指定

第67回 1月26日(金) 非公開

- ・「メロキシカム」、「鳥インフルエンザ(油性アジュバント加)不活化ワクチン(鳥インフルエンザ不活化ワクチン「北研」)」及び「豚パルボウイルス感染症・豚丹毒・豚レプトスピラ病(イクテロヘモラジー・カニコーラ・グリッポチフォーサ・ハージョ・プラテイスラーバ・ポモナ)混合(アジュバント・油性アジュバント加)不活化ワクチン(ファローシュアプラスB)」について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(6) 汚染物質専門調査会

第16回 1月23日(火)

- ・(財)京都工場保健会の池田理事及び新潟大学医学部の下条教授によるカドミウムに関する講演及び意見交換を実施

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第44回 1月16日(水) 非公開

- ・「SPEZYME FRED(TM)」及び「高リシントウモロコシLY038系統」について検討し、一部修正の上、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

意見交換会

1月16日(火) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会) <北海道旭川市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省北海道農政事務所及び北海道の主催により、北海道旭川市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省北海道農政事務所担当者、厚生労働省担当者、(財)残留農薬研究所理事の原田孝則氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1月24日(水) 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 農薬に関するOECDの取組 - <東京都千代田区>

- ・食品安全委員会の主催により、東京都千代田区にて開催し、食品安全委員会農薬専門調査会の鈴木勝土座長から「日本における残留農薬のリスク評価」と題し、また、OECD(経済協力開発機構)環境局のリチャード・シグマン主任行政官から「農薬に関するOECDの取組」と題して講演を行った後、会場参加者との意見交換を実施

1月25日(木) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会)<福島県福島市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・東北厚生局及び農林水産省・東北農政局の主催により、福島県福島市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省東北農政局担当者、厚生労働省担当者、東京農業大学農学部助教授の根岸寛光氏、(財)残留農薬研究所理事長の寺本昭二氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

1月30日(火) 食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会)<大分県大分市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省・九州農政局の主催により、大分県大分市にて開催し、農薬に関する情報提供として、農林水産省九州農政局担当者、厚生労働省担当者、(独)農業環境技術研究所理事の上路雅子氏からの説明の後、各説明者、食品安全委員会、食品関連事業者等をパネリストとしてパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

4. その他

1月12日(金) 地域の指導者育成講習会(栃木) - 食の安全情報の共有化を目指して -

- ・食品安全委員会、(独)農林水産消費技術センター本部、栃木県及び宇都宮市の主催で開催し、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全と信頼確保」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子氏からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

1月17日(水) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座(大分)

- ・食品安全委員会及び大分県の主催で開催し、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全と信頼確保」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子氏からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

1月19日(金) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座(特別区)

- ・食品安全委員会及び特別区職員研修所の主催で開催し、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全と信頼確保」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子氏からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

1月25日(木) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座(三重)

- ・食品安全委員会及び三重県主催で開催し、内閣府食品安全委員会事務局から「食品の安全性と信頼確保への取組について」のテーマで講演を行うとともに、講師の順天堂大学医学部堀口逸子氏からのリスクコミュニケーションと演習に用いるゲーミングシミュレーションについての説明後、参加者がグループに分かれ演習を実施

1月29日(月)～1月31日(水) 食品のリスクコミュニケーションに関する国際ワークショップ(第3回)

- ・平成18年度「食品の安全性に係るリスクコミュニケーションに関する調査」の一環として食品安全委員会大会議室にて開催し、内閣府食品安全委員会事務局からリスクコミュニケーションに関する日本の取組と課題を説明した後、カナダ食品検査庁のサンドラ・ラヴィーン氏及びトゥエンテ大学(オランダ)のイレネ・E・ファン・ヘーステ・ヤコブ氏からリスクコミュニケーションに関する取組をそれぞれ説明するとともに、読売新聞東京本社論説委員の井川陽次郎氏、株式会社フラリック代表取締役兼CEOコミュニケーションコンサルタントの芳賀日登美氏及びキックマン株式会社広報・IR部お客様相談センター長の滝田章氏から、効果的な情報提供とメディアリレーションについて論点提示を行い、総合的に討論